**群馬県近世寺社総合調査の概要**

 **（令和元年度から令和3年度）**

**１．調査の目的・趣旨**

本調査は、既に発刊済みの『群馬県近世社寺建築緊急調査報告書』（1978年）を補完するとともに、群馬県の近世を中心とした寺社に関わる歴史文化遺産を広く把握することを目的としている。

調査は県内の歴史的建造物の保全・活用に係る専門家であるヘリテージマネージャーを主体として実施した。

**２．調査の対象**

群馬県内に所在する近世に建築された建物のある寺社を主体としたが、近世の寺社建築の変遷を理解するために、中世～明治中頃までの寺社建築を対象とした。また、指定文化財(国･県･市町村)となっている寺社建築は原則として対象とした上で、未指定であっても群馬近世寺社総合調査委員や市町村教育委員会の推薦を得た寺社建築、事務局が必要と判断した寺社建築も対象とし､県下すべての市町村において寺社の両者、またいずれかを取り上げるよう配慮した。

**３．調査期間**

現地調査及び報告書作成作業を令和元年6月19日から令和４年3月31日まで実施した。

令和元年度は本調査及び予備調査を実施し、令和2年度は元年度に実施した予備調査の中から、群馬県が重要と判断した寺社の本調査を実施し、調査表の作成と令和元・2年度に調査した寺社の＜寺院編＞と＜神社編＞の執筆・編集作業を行った。令和3年度は群馬の近世寺社建築＜本編＞の執筆・編集作業を行い、印刷刊行した。

**４．事業主体等**

群馬県（令和元年度は群馬県教育委員会事務局）が事業主体となり、文化財保護課が事務を行い、一般社団法人群馬建築士会に調査を委託して実施した。

**５．調査組織**

群馬県が群馬近世寺社総合調査委員会を組織し、その指導・助言を得て調査方法を決定した。

群馬近世寺社総合調査委員会は、群馬県文化財保護審議会の建造物専門部会を中心として、寺社建築に詳しい委員を加えて組織した。

調査受託者である一般社団法人群馬建築士会では、リテージマネージャー50人を調査員として調査を実施した。調査は、調査員を5班に分けて、地区ごとに進めた。

**○群馬近世寺社総合調査委員会**

委員長　村田　敬一

（前橋工科大学客員教授

委　員　上野　勝久

（東京藝術大学大学院美術研究科教授）

委　員　大橋　竜太

（東京家政学院大学現代生活学部現代家政学科教授）

委　員　大野　敏

（横浜国立大学都市科学部建築学科教授）

**○事務局**

令和元年度

群馬県教育委員会事務局文化財保護課

柴野　敦雄　課長

齋藤　英敏　補佐（文化財活用係長）

小林　正　主幹

小嶋　圭　主事

令和2年度、令和3年度

群馬県地域創生部文化財保護課

植松　啓祐　課長

齋藤　英敏　補佐（文化財活用係長）

小林　正　主幹

小嶋　圭　主事

**○調査受託者**

一般社団法人群馬建築士会

会　　　長　　　田仲　豊

副　会　長　　　髙橋　康夫、城田　幸子、

坂口　　武、大久保　守

調査部会長　　　栗原　昭矩

調査副部会長　　長井　淳一

調査部会幹事　　赤石　　純、小林　則子、

森田　万己子

調査部会事務局　髙梨　春雄、武井　和美

調　査　員

（群馬建築士会ヘリテージマネージャー50名）

長井　淳一　班：

岡田　敦志、亀井　直行、小池志津子、

佐藤　　桂、須田　睿一、南雲　啓二、

難波　伸男、西村　良子、林　美幸、

藤井　宏典、宮田　賢二

　以上12名

栗原　昭矩 班：

伊藤美保子、角倉ゆき枝、島﨑　重德、

城田富志夫、堤　　雅之、福田　峰雄、

山本　和之、吉垣内英子

　以上9名

赤石　純　班：

久保　喜由、久保田和人、齊藤　朋行、

野口　忠男、羽鳥　　悟、堀込　孝義、

松井　良一、松本あい子、三好　建正

　以上10名

小林　則子　班：

飯山　　繁、板川多惠子、久保田眞理子、

小島恵理子、小林　　禎、下山　　彰、

荘司由利恵、野口　益一、原島　伸輔

　以上10名

森田　万己子班：

石坂　孝司、　岩﨑　謙治、荻野　浩、

櫻澤　　斉、貝磯　博子、関　美和子、

三代　一佳、増田久美子

以上9名

**６．調査の概要**

**（１）　調査の方法**

本調査・予備調査の２種類に分けて実施ししている。調査では、調査票の作成・写真撮影を行うが、本調査は境内図及び建物平面図の作成まで実施した。調査表は、昭和53年の近世社寺緊急調査の２次調査表を基本にして調査項目を定め、現地での確認や聞き取りをして作成した。調査対象の寺社について修理報告書等の情報がある場合は平面図も含めて参照としたが、必ず現地確認調査を行うこととした。

調査内容をとりまとめるにあたっては、調査対象の寺社や市町村教育委員会の協力を得て、各種資料や歴史・文化財関係の書籍の提供を得ることができた。

**①１年目(令和元年度)**

本調査（寺院59件、神社59件）

・国、県、市町村指定になっている寺社建築を優先的に対象とした。

・その他、未指定であるが建造物調査が既にされており、群馬近世寺社総合調査委員会により重要度が高いと判断された高い寺社を対象とした。

予備調査（寺院124件、神社135件）

・市町村からの推薦及びその他文化財保護課が必要と判断した寺社を対象とした。

・令和２年度の本調査対象選定のため、予備調査表を令和元年12月末までに完成した。

**②２年目(令和２年度)**

本調査（寺院45件、神社48件）

・予備調査を実施した寺院・神社の中から群馬近世寺社総合調査委員会で選出した寺院43件、神社48件に加え、群馬近世寺社総合調査委員会の推薦を得て、文化財保護課が重要であると判断した寺院2件を追加対象とした。

**（２）地区割り**

群馬県内を次のとおり4地区に分けた。（なお、中毛・西毛・北毛・東毛はそれぞれ群馬県の中部・西部・北部・東部を表し、旧国名である上毛野国に由来する。ただし、一般的には「北毛」に含まれる渋川市、榛東村、吉岡町は今回の調査では「中毛地区」に含めた。）

中毛地区：前橋市、伊勢崎市、渋川市、榛東村、

吉岡町、玉村町

西毛地区：高崎市、藤岡市、富岡市、安中市、上野村、神流町、下仁田町、南牧村、甘楽町

北毛地区：沼田市、中之条町、長野原町、嬬恋村、草津町、高山村、東吾妻町、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町

東毛地区：桐生市、太田市、館林市、みどり市、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町

**７．調査の経緯**

**（１）平成30年度**

・平成30年9月12日　政策プレゼンで「ぐんまの寺社魅力発掘・発信！！」として、近世を中心とした寺社の魅力を調査によって把握した上で、県民の誇り醸成と観光県ぐんまの推進を図る提案を実施。高い評価を得て本事業を進めることとなった。群馬県文化財保護審議会建造物専門部会（村田　敬一、大橋　竜太、大野　敏）の指導・助言を得ながら調査計画の立案を進めた。

・平成31年2月1日　県内全市町村文化財保護行政主　管課あてに「近世寺社に関する情報提供について（依頼）」を発出。調査候補の選定に向けた情報収　集を開始した。

**（２）平成31・令和元年度**

・平成31年4月22日　群馬県仏教連合会及び群馬県神社庁に調査へ協力を依頼。

・令和元年5月20日　群馬近世寺社総合調査委員会を発足し、委員4名を委嘱（村田　敬一、上野　　勝久、大橋　竜太、大野　敏）、同日の第1回委員会で、調査方法・対象等について指導・助言を受けた。

・令和元年5月29日　群馬県教育委員会と一般社団法人群馬建築士会とで令和元年度群馬近世寺社総合調査業務委託契約を締結（履行期間：同年6月3日～令和2年3月31日）。

・令和元年6月22日　本妙寺（伊勢崎市）及び産泰神社(前橋市)でモデル調査を実施。令和元年度における現地調査が開始された。

・令和元年7月20日　第2回群馬近世寺社総合調査委　　　　員会を開催。現地調査の実施方法、調査報告書の作成　等について指導・助言を受けた。

・令和2年1月25日　第3回群馬近世寺社総合調査委員会を開催。令和2年度の本調査対象の選定及び調査報告書の作成等について指導・助言を受けた。

・令和2年3月30日　令和元年度群馬近世寺社総合調　査業務委託が終了。

**（３）令和2年度**

・令和2年5月11日　群馬県と一般社団法人群馬建築　士会とで令和2年度群馬近世寺社総合調査業務委託契約を締結（履行期間：同年5月11日～令和3年3月31日）。

・令和2年6月13日　調査対象の確認等の準備が行われ、令和2年度における調査が開始された。

・令和2年7月23日　第4回群馬近世寺社総合調査委員会を開催。調査報告書の作成等について指導・助言を受けた。またコロナウイルスの流行拡大に伴って調査に遅れが生じていることを受けて、調査報告書作成スケジュールを見直すこととなった。

・令和3年3月29日　令和2年度群馬近世寺社総合調査業務委託が終了。調査報告書第2分冊「寺院編」及び第3分冊「神社編」が提出された。

**（４）令和3年度**

・令和3年4月15日　群馬県と一般社団法人群馬建

　築士会とで令和3年度群馬近世寺社総合調査業務

委託契約を締結（履行期間：同年4月20日～令和

4年3月31日）。調査報告書作成業務が開始され

た。

・令和3年11月30日　調査報告書原稿が一般社団

法人群馬建築士会から全て提出された。

・令和4年3月18日　調査報告書刊行。同日、令和

3年度群馬近世寺社総合調査業務委託が終了。

**８．協力者**

　本調査の実施に当たり、調査対象の寺院・神社の他に以下の機関から協力を得た。

群馬県仏教連合会、群馬県神社庁、前橋市教育委員会文化財保護課、高崎市教育委員会文化財保護課、桐生市教育委員会文化財保護課、伊勢崎市教育委員会文化財保護課、太田市教育委員会文化財課、沼田市教育委員会文化財保護課、館林市教育委員会文化振興課、渋川市教育委員会文化財保護課、藤岡市教育委員会文化財保護課、富岡市教育委員会文化財保護課、安中市教育委員会文化財保護課、みどり市教育委員会文化財課、榛東村教育委員会事務局、吉岡町教育委員会生涯学習室、上野村教育委員会事務局、神流町教育委員会事務局、下仁田町教育委員会文化財保護係、南牧村教育委員会事務局、甘楽町教育委員会社会教育課、中之条町教育委員会生涯学習課、長野原町教育委員会教育課、嬬恋村教育委員会郷土資料館、草津町教育委員会事務局、高山村教育委員会事務局、東吾妻町教育委員会社会教育課、片品村教育委員会事務局社会教育係、川場村教育委員会事務局生涯学習係、昭和村教育委員会事務局社会教育係、みなかみ町教育委員会生涯学習課、玉村町教育委員会生涯学習課、板倉町教育委員会事務局生涯学習係、明和町教育委員会生涯学習課、千代田町教育委員会事務局生涯学習係、大泉町教育委員会生涯学習課、邑楽町教育委員会生涯学習課